



熊本 和夫  
(自民党)

### LRT工事期間中 渋滞対策は

**問** LRT着工後は、道路拡幅や軌道の敷設などの工事を同時並行で進めていくことが予想される。工事のための交通規制により、近隣住民をはじめとした道路利用者への影響は少なくないと思われる。朝夕の交通量の多い時間帯に車線を規制すれば、渋滞の発生は避けられないと危惧している。工事中の、自動車の通行への影響を少なくすることは、整備を円滑に進める上で重要であると考えますが、渋滞対策はどのようなものにするのか。

**答** LRT導入に伴う工事の実施にあたり、円滑な交通環境を確保していくことが重要であると認識している。

現在、工事の実施にあ

わせた周辺道路の計画的な整備や自動車の通行への影響を抑制するための最適な工事区間の設定、可能な限り現行の車線数を確保するための工事手順、交通量のピークを避けた工事時間帯の設定など様々な工夫を行い、市民生活への影響が最小限となるよう交通の円滑化策を検討している。

今後とも、関係者と協議を重ねながら交通の円滑化に対する検討を進め、市民に広く周知し、不便をかけるないように取り組んでいく。



▲フランスのLRT

### その他の質問項目

- ①中期財政計画計画策定の考え方など
- ②立地適正化計画と市街化調整区域の土地利用(市民や民間事業者の理解促進に向けた取り組みなど)
- ③宇都宮駅東口地区整備事業の整備方針
- ④こども医療費の明示
- ⑤北部地域の振興(北西部体育施設の整備など)



岡本 芳明  
(自民クラブ)

### 宇都宮工業団地の 未利用産業用地 処分の進め方は

**問** 人口減少や東京圏への転出超過への対策が求められるなか、市では、企業の新規立地や本社機能移転を促進している。29年度には、宇都宮テクノポリスセンター地区の企業立地促進事業用地が売却され、新たな企業が立地することとなった。今後も積極的な企業誘致を進めるべきであると考えますが、産業用地として未利用の宇都宮工業団地企業立地促進事業用地約8.7ヘクタールについて、どのような利用を促進していくのか、処分の考え方や進め方を聞く。

**答** 宇都宮工業団地企業立地促進事業用地(パ

ナソニック工場跡地)につ

いては、企業ニーズの高まりを踏まえ、早期の売却処分を行いたいと考えている。処分にあたっては、雇用創出力や関連企業への経済的波及効果の高い製造業をはじめ、物流関連産業など、産業拠点にふさわしい業種による土地利用を条件とし、また、敷地全体は一括で売却していく。企業ニーズを踏まえ、複数の事業者による共同購入や購入者による分割分譲も可能としていく。29年度中の当該用地の売却完了に向けて、11月頃に入札参加希望者の公募を開始し、30年1月に入札を実施していく。



▲宇都宮工業団地

### その他の質問項目

- ①テクノポリスセンター地区の新設小学校
- ②板戸最終処分場の利活用
- ③ドローンの活用
- ④本市における土地の未相続などの所有者不明地
- ⑤農業委員会



金沢 力  
(公明党)

### 空き家バンクの 開設でさらなる 空き家対策を

**問** 市では、適正に管理されていない空き家の所有者に対し、条例に基づき指導や勧告を行っている。29年4月には、空き家等対策計画が策定され、空き家対策が一層進むものと期待している。

①28年度の指導実績と29年度創設された補助金の申請状況は。

②全国版空き家バンクの開始に伴い、市でも空き家バンクが必要では。

**答** ①28年度は、所有者が特定できた240件に指導などを行い、そのうち、85件に改善が図られた。また、老朽危険空き家除却費補助金は23件の申請があり、老朽危険空き

家と判定した16件に交付

した。空き家再生支援事業補助金とコミュニティひろば整備費補助金は、現段階で申請はない。

②市内の不動産事業者が空き家の所有者と居住希望者などのマッチングを行っている。

このような中、全国版の空き家バンクは、多くの利用が見込まれるとともに、新たなニーズの掘り起こしが期待されることから、不動産関係団体が所属する官民連携組織である宇都宮空き家会議の意見も踏まえながら、全国版と連動した市の空き家バンクの構築を検討していく。



### その他の質問項目

- ①安全・安心のまちづくり地域における防犯カメラの設置促進、高齢ドライバーの交通安全対策など
- ②防災・減災対策(越戸川の整備、雨水の利用促進など)
- ③保健福祉行政(年金受給資格の期間短縮など)
- ④教育行政(部活動における人材活用制度の充実など)